

Athlete Voice 入賞者の声

▶ 質問内容

- Q1. 今回の国スポが終わっての感想をお聞かせください。
 Q2. 今大会(今シーズン)、最も力を入れたこと、意識したことを教えてください。
 Q3. 今後の目標や展望があれば教えてください。
 Q4. スケート・スキー以外の趣味や力を入れていることがあれば教えてください。
 Q5. 岩手県の代表として出場し、良かったことやプラスになったこと、思い出等があればお聞かせください。
 Q6. 岩手県のみなさんへ一言

こ ばやし じゅん し ろう 小林潤志郎 選手

スキー競技 成年男子B スペシャルジャンプ

- A1. 12年ぶりに岩手代表で出場させていただき大変光栄でした。大会に出場するにあたり、知っている方ともお会いできて嬉しかったです。楽しく競技する事が出来て、皆様に感謝しております。
 A2. 優勝出来る様に常に意識していたのと、岩手県チームに貢献したいと思っておりました。
 A3. ワールドカップのチームに戻る様にトレーニングに励んで参ります。
 A4. 心身共に健やかに過ごす事を常に心がけています
 A5. 久しぶりの出場で、色々な方にお会いして交流する事で、より一層岩手県の事が好きになりました。
 A6. 小林兄弟頑張ります!!



ない き たか むね 内記孝宗 選手

スキー競技 少年男子 クロスカントリー10km

- A1. 今回の国スポではクラシカル2位という結果を残すことができ、自分のこれまでの取り組みが形になったことを嬉しく思っています。一方で、優勝まであと一歩届かなかった悔しさも強く感じました。
 A2. 今シーズンはレース後半でもペースを維持できるように心肺機能の強化と、細かいカーブや起伏の変わり目でも手を抜かない滑りを意識してきました。また、自分の滑りに自信を持って最後まで粘る気持ちも大事にしてきました。
 A3. 今回の結果に満足せず、安定して入賞することが今後の目標です。そのために、体力面だけでなく、技術の精度も磨いていきたいです。大学でも競技を継続し、全国で活躍し続けられる選手を目指します。
 A4. スキー以外では、ストレッチや体の使い方について学ぶことに興味があります。日々のケアを大切にし、良いパフォーマンスを、発揮できるよう意識しています。
 A5. 多くの方々の支えや応援の中で競技ができたこと、全国のレベルの高い選手と競い合えたことで、この競技の楽しさを改めて実感することができ、自分の自信に繋がりました。ありがとうございました。
 A6. 日頃からこれまでの自分の成績以上に、期待や応援をしてくださる方々が僕の大きな力になっています。本当にありがとうございます。会場では、苦しい場面で熱い声援を受け、自分の力を出し切ることができました。来年の岩手国スポでは、さらに成長した姿を見せられるよう、感謝の気持ちを忘れず努力していきます。

まつ い やま と 松井大和 選手

スケート競技
成年男子 スピード500m

A1. 岩手県選手団として5大会国スポに参加させていただきました。今回の国スポで思ったことは岩手県選手団の結束力がすごいなということです。少年女子の選手方がデコレーションした応援用のうちわを準備してリンクサイドで応援してくれたり、成年選手団も普段から集まってコミュニケーションをとって仲間意識を深めたりと他県よりもチーム意識を作れたかと思います。

A2. スケーティングを良くすることでした。なかなか簡単ではありませんでしたが今シーズンの1番大きな大会で久しぶりにいいスケーティングをパフォーマンスすることができました。

A3. まだ今シーズンが終わったばかりですのでゆっくり考えていこうと思います。

A4. 絵を描いたりしています。スポーツも含めてさまざまな表現をインプットするようにしています。

A5. 僕は北海道出身で北海道代表として大学生まで国体に参加してきました。僕がいた当時は北海道選手団ではそんなにチーム内でコミュニケーションをとって仲間意識で頑張るという雰囲気ではありませんでした。岩手県で参加すると少年から成年まで仲良くやっているアットホームな雰囲気がありました。スケートを通して先生やコーチ、選手たち全員が繋がっているんだなと思える場所でした。

A6. 岩手にはスピードスケートを頑張る選手がたくさんいます。少しでも興味を持っていただいで、スケートリンクに観戦しに来てくれたら嬉しいです。頑張っている姿に元気をもらえますと思います。よろしくお願いします！



たけだ め い うえ つ まな か 武田愛生 選手・植津愛花 選手 ありはら ゆず 有原 柚 選手・田中稟埜 選手

スケート競技
少年女子
スピード2000mリレー



A1. リレーに初出場し、4位入賞できたこととても嬉しいです。レース前日の公式練習でしか練習ができず、とても不安でしたが、みんなで声を掛け合いながらまずは失格しないことを目標に頑張りました。とても楽しく終わったので良かったです。

A2. 今シーズンは、コーナーの改善に力を入れました。また、去年よりも低い姿勢で滑ることを意識しました。

A3. 今後の目標は、インターハイで入賞することが一番の目標です。また一つひとつのレースを大切に、記録をさらに伸ばしていきたいです。

A4. いろいろな景色を見ることが好きなので、散歩をすることにはまっています。

A5. リレーの4人のうち3人が国スポが初出場という中でとても緊張と不安な気持ちがありましたが、みんなで声を掛け合いながら、レースをすることを心がけて、4位入賞できたのでは、とても嬉しかったし、印象に残っています。また、国スポを通してグループの仲も深めることができ、楽しい思い出いっぱいです。

A6. 岩手県のみなさんと、同じチームとして国スポに出場できたことをとても誇りに思います。仲間や支えてくださった方々のおかげで最後まで全力で滑ることができました。この経験を次に生かせるよう、これからも頑張ります。(少年女子リレー代表：武田 愛生選手)

国スポ オフショット



